

＝第67回 地中海全国大会（新大阪大会）ご案内＝

- ◆日 時：平成31年（2019年）5月12日（日）～13日（月）、1泊2日
- ◆会 場：新大阪ワシントンホテル プラザ
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15
(Tel:06-6308-8700, Fax:06-6308-8711)
- ◆会 費：25,000円
- ◆交 通：JR東海道及び山陽新幹線は「新大阪」下車、南（正面）改札口へ。
在来線は東改札口へ。地下鉄の場合は「新大阪」下車、梅田寄りの⑦改札口より。いずれも改札口に案内係が立っています。徒歩約5～6分です。
- ◆日 程：5月12日（日）

運営連絡会受付	12：30～
運営連絡会	13：00～14：30（昼食付き）
一般受付	14：00～（ホテルのチェックインは15時から）
写真撮影	15：00～
班別歌会	15：30～17：30
懇親会	18：30～20：30

 5月13日（月）

朝 食	6：30～8：30（ホテルをチェックアウト）
班別歌会	9：00～10：20（「地中海」5月号持参のこと）
講評、総会	10：30～12：00
昼食後解散	12：30
- ◆申 込 「地中海」誌2月号に添付される専用払込取扱票により、金額、必要事項を記入の上、3月15日（金）までに送金し、お申込みください。
当ホテルは基本的にはシングルです。ツインご希望の方は申し込み時にその旨記載してください。また連泊される方は直接ホテルに申し込んでください。（ホテルの担当者は販売促進の高橋氏です。）
・振替口座＝00930-3-318348 「地中海全国大会・新大阪大会」。
会計担当：高尾恭子 〒547-0034 大阪市平野区背戸口1-1-3
(Tel:06-6797-4057)
- ◆詠 草 新作1首。住所（〒も記入）、氏名、所属支社、グループ名、A、B、C欄の別を明記する。「地中海」原稿用紙を使用のこと。返信用封筒（長形3号封筒に92円切手を貼り、自分宛の住所、氏名を記したものを同封の上、3月15日（金）必着で下記にご送付ください。
・送付先：〒535-0005 大阪市旭区赤川4-23-17
田土成彦（Tel/Fax:06-6922-7046）
- ◆運 営 地中海、大阪支社 及び 宙の会

大会委員長	牧 雄彦 (Tel/Fax:06-6841-0733)
大会副委員長	田土才恵 (Tel/Fax:06-6922-7046)
会 計	高尾恭子、山崎昭子
大会事務局	田土成彦 (Tel/Fax:06-6922-7046)

クリップ

■入会届・退会届について
葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締めになります。新年度が始まりました。平成三〇年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっています。各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二〇〇〇円
- ・ B欄 一五〇〇円
- ・ C欄 一〇〇〇円
- ・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちも是非ご勧

誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて
一冊一五〇〇円。それに送料がかかりますので、まとめてお申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。

■本誌の追加注文について
本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題

でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原巨子歌集

『沖繩(新装版)』注文受付
ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

00180・2・790355 九曜書林

本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありませんが、常駐する者がおられますので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・藤森：☎ 090-8301-6423
・久我：☎ & FAX 043-241-7925
までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見その他もどうぞお寄せください。

● 計 報 ●

● 昨年の九月には小林仲さんが、十二月三日にはむさし野支社長だった飯田勤氏が、ご逝去。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

神田通信

◆北の地方からの雪だよりがテレビを賑わす。「見渡すかきりの銀世界」の例の常套句がついに口に出る。でも、寒いのは苦手。

(朝井)

◆日本人は和服が似合う。ノーベル賞授賞式での本庶佑氏の羽織袴姿を見て思った。(小野)

(小野)

◆神田でも銀杏の葉が忙しく散っている。アイヌ神話によると柳葉魚は天上界から散ってきた柳の葉が魚になったとか。こんな話が私は大好きです。(茂木)

(茂木)

◆橋標は、入口が漢字で出口はひらがなで書かれているのとこと。確かに、ほとんどの橋が漢字とひらがなで。散歩の折にもご覧下さい。(磯田)

(磯田)

◆毒の魚が売られてしまったというニュース。皮を剥いで騙す方法、皮を被ってごまかす方法もあり様々だ。いいニュースの多い年になあれ!

(和美)

◆今年のXマス、小二の息子は

サンタさんにゲーム機本体をもらう気満々。高価なので来年にはもうサンタの正体を明かそうと思案中です。

(玉井)

◆今夜(12月14日)、ドラマ「昭和元祿落語心中」が終わる。落語家遊楽亭八雲の運転手で、身の回りの世話をしている松田

(篠井英介)の振舞が好きだ。

きっと、こういう人を(珠玉のような人)と言うのだろう。

(三好)

◆「短歌」十一月号の特集「知れば得する歴史的仮名遣ひ」より。「ちれうはふはあらざるからだよこたへて対流圏のそこひに灯す」こうなると謎解きだ。

(高尾)

◆霜が降りて終わる単人瓜、こそと根を張る麦、滋味を増す

作物。畑に切れ目はなく、ながしかの野菜が食卓に変化をもたらす一年です。

(浜谷)

◆リングと柿とミカンと、この季節何を食べるか迷ってしまう。果物好きには良い季節だけれど、本格的な寒さに向かう季節でも

ある。体調にご留意を。

(成彦)

◆福島自主夜間中学で「校歌」づくりをした。歌詞は「生徒」と「先生」たちが共に考え、曲作りは福島出身の音楽家、大友良英さんが担当した。楽しい試みだった。

(藤田)

◆NHKで道の部族の唯一人の生き残りを特集していた。言葉

を解する者が誰もいないのだ。自分の中の自分と対話している

のだろうか、言葉で。(槍垣)

◆十二月十四日、討入りならぬ一年最後の編集作業日。体調を崩したり、近隣の用が重なったりで、今回も少ない人数での作業となり、会議後お茶を飲みながらの歓談をもって忘年会。

◆今号では、いつも「シルクロードカフェ」を担当してくれている木村文子さんに、B・C欄の歌人たちへメールを送ってもらいました。メールよ届け!

◆歌集出版を祝う会も相次いでいます。また新たな歌集の出版も。楽しみます。

(久我)

■A欄推薦について

次の年度にA欄に推薦する会員のいる支社・グループ長は、3月末日までに小野雅子宛に資料をお送りください。B欄で3年以上経過していることが必要条件です。

- ・記入事項：①氏名②生年月日③職業④入社年月⑤歌歴(B欄になった年月)
- ⑥短歌に関わる業績など

5月に行なわれる全国大会の運営連絡会で承認されれば、10月号からA欄会員となります。

●2月・3月の本社予定

- 2月5日(火)：校正
- 2月15日(金)：編集
- 2月23日(土)：歌会
- 3月5日(火)：校正
- 3月15日(金)：編集
- 3月23日(土)：歌会